

安全データシート

銀（バー、グラニュール）

1. 化学品および会社情報

製品の名称：	銀（バー、グラニュール）
会社名：	アサヒメタルファイン株式会社
住所：	東京都千代田区丸の内1-7-12
電話番号：	03-6270-1826
緊急時の電話番号：	0297-20-9032
FAX番号：	03-6270-1813

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B
皮膚感作性	区分1
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器系）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（眼、呼吸器）

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：
注意喚起語：



危険

危険有害性情報：

- (H320) 眼刺激
- (H317) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- (H370) 臓器の障害（呼吸器系）
- (H372) 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害（眼、呼吸器）

注意書き：

【安全対策】

- (P260) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- (P264) 取扱い後は手をよく洗うこと。
- (P270) この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- (P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- (P280) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

- (P305+P351+P338) 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- (P337+P313) 目の刺激が続く場合、医師の診察／手当を受けること。
- (P302+P352) 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
- (P333+P313) 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。
- (P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- (P308+P311) ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- (P314) 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。

【保管】

(P405) 施錠して保管すること。

【廃棄】

(P501) 内容物は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者へ処理委託すること。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名または一般名	銀 (Silver)
化学式:	Ag
C A S 番号	7440-22-4
濃度または濃度範囲	99.99%以上
G H S 分類に寄与する成分 (不純物及び安定化添加物含む):	なし

4. 応急措置

粉じん等を吸入した場合:

- ・新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

粉じん等が皮膚に付着した場合:

- ・皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗い洗浄すること。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

粉じん等が目に入った場合:

- ・水で数分間注意深く洗うこと。
- 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

粉じん等を飲み込んだ場合:

- ・口をすすぐこと。
- ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺の状況に応じて、適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	情報なし

この製品は、不燃性である。ただし、高温熔融時の注水は厳禁である。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

回収が終わるまで、十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項:

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法及び機材:

掃き集めて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項： 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
保護眼鏡等で粉じん等から眼を保護すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 接触回避： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

- 技術的対策： この製品は、通常的环境下では安定なため、適用されない。
- 混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 保管条件： 直射日光、高温を避けて保管する。
施錠して保管すること。
- 容器包装材料： この製品は、通常的环境下では安定なため、適用されない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

日本産業衛生学会勧告値	ACGIH TLV-TWA
0.01mg/m ³ (銀および銀化合物として)	0.1mg/m ³ (Ag)

(参考) 労働安全衛生法管理濃度：土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉塵として 3mg/m³

設備対策：この製品を加工し、粉じん、ヒューム等が発生する作業場には洗眼器、安全シャワー及び換気装置を設置すること。

保護具

- 呼吸器の保護具： 適切な呼吸保護具を着用すること。
- 手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具： 適切な眼、顔面用の保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 固体
- 色： 銀色
- 臭い： 無臭
- 融点： 962°C
- 沸点： 2,212°C
- 可燃性： 可燃性固体の区分外
- 爆発下限界および爆発上限界／可燃限界： 情報なし
- 引火点： 情報なし
- 自然発火点： 情報なし
- 分解温度： 情報なし

pH:	情報なし
動粘性率:	情報なし
溶解度:	不溶(水)
n-オクタノール/水分配係数:	情報なし
蒸気圧:	0.000000565Pa (25°C) (換算値)
密度及び/又は相対密度:	10.5 g/cm ³
相対ガス密度:	情報なし
粒子特性:	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性:	通常的环境下では安定である。
危険有害反応可能性:	オゾン、硫化水素又は硫黄にばく露すると黒ずむ。 アセチレンにより衝撃に敏感な化合物を形成する。 微粉末は濃過酸化水素溶液と接触すると爆発するおそれがある。 (激しく分解して酸素ガスを放出する。) 乾燥時、アンモニアと接触すると爆発性化合物を生成することがある。
避けるべき条件:	混触危険物質との接触
混触危険物質:	強酸類、強塩基類、強酸化剤
危険有害な分解生成物:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	区分に該当しない (ラット LD ₅₀ > 5000mg/Kg (HSDB(2003)) の記載より)
急性毒性(経皮):	区分に該当しない (ラット LD ₅₀ > 2000mg/Kg (HSDB(2003)) の記載より)
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性:	区分に該当しない (ウサギによる試験で Slightly irritating (IUCLID(2000)) の記載より)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分 2B (眼刺激) (ウサギの試験で軽度の刺激性、48 時間で回復している (IUCLID(2000) の記載より)
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	区分 1 (粉体の暴露でアレルギー性皮膚反応を起こす (ACGIH2001)、銀を含有する装身具への接触によりアレルギー反応を生じた (PATTY(5 th ,2001) の記載より)
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分 1 (呼吸器) (加熱した銀ヒュームへの4時間ばく露で肺水腫を伴う肺の障害が起きた (ACGIH(2001)、粉塵の職業ばく露で気道の刺激を生じる (ATSDR ToxFAQs(1997))
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分 1 (眼)、区分 1 (吸入:呼吸器) (粉体への職業ばく露による皮膚、粘膜に色素が沈着する銀中毒を生じる (ACGIH(2001)、PATTY(5 th ,2001)) が、機能障害として現れるのは夜間視力の減少である (ATSDR ToxFAQs(1997)) (粉塵の長期間吸入による肺への沈着から気管支炎になった (PATTY(5 th ,2001)、HSDB(2003))
吸引性呼吸器有害性:	分類対象外
誤えん有害性:	情報なし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）：	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）：	分類できない
オゾン層への有害性：	情報無し
生態毒性：	情報無し
残留性・分解性：	情報無し
生態蓄積性：	情報無し
土壌中の移動性：	情報無し

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送に関しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 （別表第9の137）【銀及びその水溶性化合物】
化学物質排出把握管理促進法：	第一種 政令番号（1-105）管理番号（82）【銀及びその水溶性化合物】
毒物及び劇物取締法：	該当しない
大気汚染防止法：	有害大気汚染物質（中環審第9次答申の45）【銀及びその化合物】

16. その他の情報

参考文献	JIS Z 7252（2019）／ JIS Z 7253（2019） 職場の安全サイト（厚生労働省） （独）製品評価技術基盤機構 産業衛生学会 許容濃度等の勧告（2022年度）（日本産業衛生学会） ACGIH TLV&BEIs（2021）
------	--

本情報は製品に対して品質保証や安全保証をするものではなく、製品の危険、有害性に関する情報を提供するものです。

記載のデータや評価に関しては必ずしも十分ではありません。すべての化学製品には未知の危険有害性があるため、取り扱いには十分にご注意ください。

注意事項は通常の手続きを前提としたものであって、特殊な取り扱いの場合は十分な安全対策を実施の上でご利用ください。